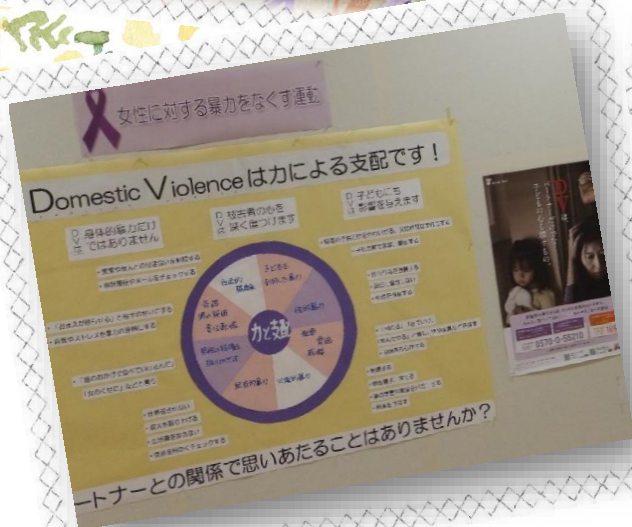


高砂市男女共同参画センター NEWS

令和元年度 3月号

活動報告で～す



女性に対する暴力をなくす運動

毎年11月12日から25日は女性に対する暴力をなくす運動期間です。配偶者等からの暴力、性暴力、セクシャルハラスメント、ストーカー行為、人身取引などは人権侵害であり許されるものではありません。

アスパ高砂1階フードコート前にて啓発展示を実施しました。
令和元年11月12日（火）～11月19日（火）

今年度はフードコートの壁面にポスターや図表を掲示しました。
白いツリーを設置し、児童虐待防止のオレンジリボン
女性に対する暴力撲滅のパープルリボンを飾り付けました。

DV（ドメスティックバイオレンス）は パワーによる支配です！

D V は

体への暴力だけでは
ありません

手をあげられたことはなくとも、委縮し、あなたを否定されたように感じているなら、ふたりの関係にはDVがあるのかもしれません。

D V は

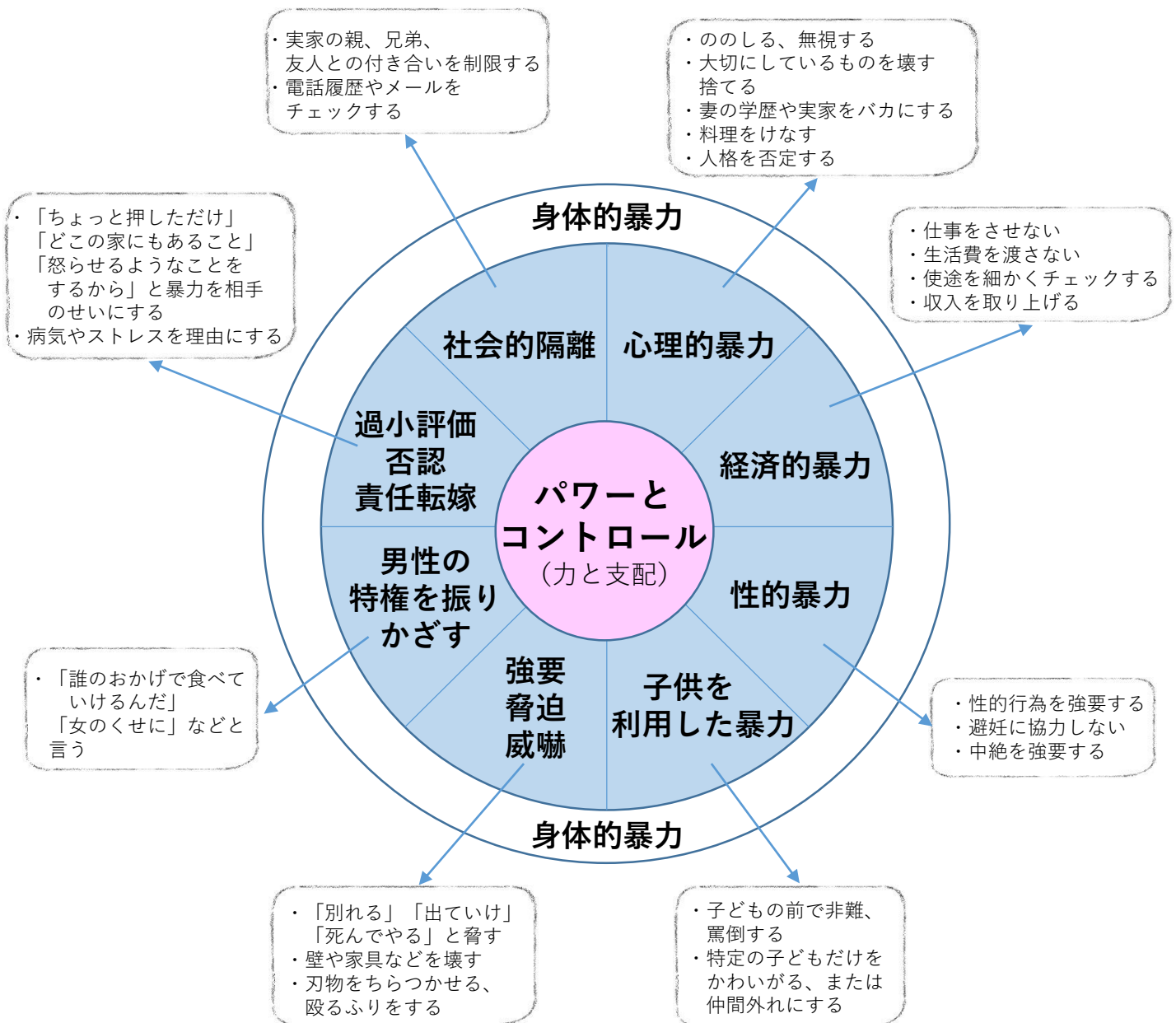
被害者の心にも影響を
与えます

暴力への不安や緊張を抱え続けた生活は、心身にダメージを与えます。抑うつ感や強い不安感、無気力感などは、DVの影響ということもあります。

D V は

子どもにも影響を
与えます

親の暴力を目撃（面前DV）したことにより、子どもに様々な心身の症状が現れることがあります。また、暴力を目撃しながら育った子どもは、自分が育った家庭での人間関係のパターンから、感情表現や問題解決が困難な状態に陥ることがあります。



パートナーとの関係で思いあたることはありませんか？



パワー（力）とコントロール（支配）の車輪

出典：暴力男性の教育プログラム ドゥルース・モデル（誠信書房2004.3）
エレン・ベンス、マイケル・ペイマー著 堀田穂、寺澤恵美子 訳

職員研修を行いました！

日時：令和元年11月8日（金）

13：30～15：30

場所：南庁舎 5階

第1部

「ドメスティックバイオレンスの被害を受けた女性と子どもの支援」



講師：認定NPO法人
女性と子ども支援センター
ウィメンズネット・こうべ
茂木 美知子 氏

目黒や野田市で起きた事件をきっかけに児童虐待へ社会的な関心が高まりました。どちらの母親もDV被害を受けていました。事件前に行政へ相談もしていたのに引越しのため支援が途切れてしまいました。事件からわたしたちが学ぶべき点は「連携」の大切さです。

講師から窓口に来られた市民の方のわずかなサインを見逃さず、適切な担当へ案内する重要性を教わりました。その後ひとつのケースをもとに、自分はどう行動するかを考えました。活発な意見を交わしながら、連携の大切さを改めて確認しました。

男女共同参画センターではこれからも、DVや児童虐待に苦しむ人に寄り添い適切な支援が出来る環境づくりと職員のレベルアップを目指して活動します。

第2部

「中米・南米における障がい者支援について」

「ハゲワシと少女」この一枚の写真が講師の転機になりました。
世界で貧困にあえぐ子ども達へ出来ることは何だろう…
そう考え大学で障がい児教育を学び、青年海外協力隊の障がい者支援派遣に参加した講師は、最初に中米のニカラグアへ渡りますが、内戦のため避難帰国となり、その後南米ボリビアへ派遣されました。

講師：元青年海外協力隊
常盤 温子 氏

～ 以下、講師のお話の抜粋です ～

南米ボリビアの特別支援学校は首都にあり、1番進んだ教育をしていて、日本の高知大学へも研修に行っています。

この特別支援学校では、子ども達がわかりやすいように片づける場所を写真で示したり、はさみで切りやすいように線を引く工夫がされていました。しかし、子どもを褒めて伸ばすという考えはないようです。そこで、子ども達を意識的に褒めてみると、笑顔で楽しみながら勉強に励んでくれました。

また、南米ボリビアの田舎では障がい児を「神様から特別な何かを受けて生まれた子」としており、シャーマンから祈祷を受け、家からほとんど出すことはありません。たとえ都会で教育を受けることができて働く場所はなく、結局はずっと家にいます。子どもたちが将来仕事に就き、自立する支援の大切さを感じました。

ボリビアはシャイな人が多く、最初は距離を置かれたものの、一度心を開くと家族のように接してくれます。パーソナルスペースが狭い分、心身ともに人との距離が近く、物は無いけれど自分も人も大切にできる心の豊かさが日本と大きく違うと感じました。

「外国人」としてマイノリティになった経験を、これからの障がい児教育に生かしていきたいです。



図書案内

82年生まれ、キム・ジヨン

女性たちの抱える人生での
理不尽さに納得

家父長制度の中で不公平
な立場を強いられてきた
多くの女性たちから、共感
の声が聞こえます

あなたはどのように感じますか？



ぼくはイエローでホワイトで、 ちょっとブルー

子供のしなやかな感性は大人の想
像を軽々と飛び越え、新しい風を
吹かせる……

イギリスの多様性を冷静に受け入
れ、その現実とともに暮らす息子
と母親の日常を描く



女性のための こころの相談 079(443)9134

月曜日～金曜日 9:30～12:00 13:00～17:00

*相談は無料です。秘密は厳守します。

高砂市男女共同参画センター

高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号

高砂市役所西庁舎4階

電話：(079)443-9133

FAX：(079)443-9080

E-mail

cocot@city.takasago.lg.jp

(令和2年3月発行)

